

第5回：図書室で見つけた、生徒たちの「キラリ」（5月15日）



今回は、図書室から届いたちょっと嬉しくなる生徒たちの姿と、校長が見た放課後の心温まる風景を紹介します。

その1：驚きの立候補ラッシュ！ 新年度の図書委員長・副委員長を決める際、それぞれ3名もの生徒が「やりたい！」と立候補してくれました。最後はじゃんけんではなく挙手で決定。「自分たちの手で図書室を良くしたい」という意欲あふれる姿に、図書室の新しい風を感じました。

その2：図書委員の3年生は働き者！ ある日の放課後、当番時間を過ぎても残る仕事に、3年生の図書委員が「最後までやります」と残ってくれました。さらに、委員会ではない友人も「今日はバイト休みなので手伝います！」と一緒に作業。その働き者な3年生の姿に、司書さんも深く感心していました。

その3：放課後のマイスペース 先日、放課後に図書室を覗いてみると、そこには素敵な空間が広がっていました。グループで楽しそうに会話を交わしながら勉強する生徒たち、個人で黙々と集中して机に向かう生徒、そしてお気に入りの本を手にとりリラックスして読書を楽しむ生徒――。

窓から街を一望できる図書室は、生徒たちがそれぞれに心地よい時間を過ごせる、学校一温かい「居場所」になっています。